

総合的な学習の時間 第3学年 指導計画

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-------	-----	-----	-----

単元名 「私たちの 連光寺」(一学年一実践)全 7 0 時間 (体験 3 2 時間)

小単元名「めざせ！桜ヶ丘公園ガイド」 5 0 時間 (体験 2 0 時間)

小単元名「桜の丘学園の友達と仲良くなろう」 2 0 時間 (体験 1 2 時間)

めざせ！桜ヶ丘公園ガイド

【ねらい】 ○桜ヶ丘公園や谷戸田の自然、歴史への興味関心をもち、体験を通して課題を見つけ、調査探究活動や探究学習を行い、問題解決学習の学び方を身に付ける。
○学習で知りえたことを基に、自分や地域の人々との関わりを考え、他学年や保護者地域の方にガイドを行い、紹介する。

【つかむ】

○身近な自然や季節の変化に触れ、体験活動、調査活動を行いながら、森の見方や触り方、関わり方、地域の移り変わり・桜が丘公園の特徴、仕事、課題を学ぶ。

【まとめる】

○e ポートフォリオを作成し、問題解決に生かしたり、ふりかえりに活用したりする。

【追究する】

○自分の課題を設定し、専門家から学んだり、インターネットで調べたり、図書資料等を活用したりして調べ学習を行う。

【発信する・行動する】

○今までの調査で分かったことをガイドマップにまとめ、発信する。
○互いに調べまとめたことを交流し合ったり、グループで進めた研究内容を発表したりする。
○活動を振り返り、これからの自分たちができることを考え発表し、行動する。

桜の丘学園の友達と仲良くなろう (一学年一実践)

【ねらい】 ○地域の都立桜の丘学園との交流活動を行い、障がい者の理解・啓発を図るとともに自分達でできることは何かを考え、桜の丘学園の友だちや地域に対して活動する。
○これまでの学習でつかったことを基に自分や地域の様々な立場の人の存在を理解し、福祉について考えるきっかけとする。

【つかむ】

○地域にある桜の丘学園について知り、学園の友達と仲良くなろうとする気持ちをもつ。
○地域の施設や設備などに目を向け、ユニバーサルデザインの観点を知る。
○桜の丘学園の学習プログラムと一緒に参加し、学園の友達を知る。
○障がいのある人と関わろうとする気持ちをもつ。
○パラリンピック競技「ボッチャ」を体験する。

【追究する】

○学園の友達と仲良くなるための遊びを考えて一緒に交流する。

【まとめる】

○体験したことを振り返り、自分の考えをまとめる。

【発信する・行動する】

○活動を振り返り、これから自分たちができることを考え、発表し、行動する。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・桜ヶ丘公園探検を通して、地域の自然や歴史、関わっている人々等の特色を理解する。 ・障がいがある人の生活や支援の大切さを理解することができる。 ・図書資料などを活用して調べたりすることができる。 ・ユニバーサルデザインについて理解することができる。	・活動を通して、自分や地域、自然との関わりについて考えることができる。 ・仲間と協力して話し合いを重ね、自分の思いを工夫して伝えたり、振り返ったりすることができる。 ・ユニバーサルデザインの必要性について考えることができる。	・地域や自然について、様々な立場の人々や仲間と関わりながら、意欲的に探究活動を行い、地域への愛着をもつことができる。 ・地域の中で自分たちができることや関わり方をみつけ、協力して行動・実践しようとする事ができる。 ・My SDG s を設定し、実現に向けた姿勢をもつ。

【地域人材・関係機関】

○学校図書館司書・地域の図書館 ○都立桜ヶ丘公園・公園レンジャー ○ヴェルレンジャー ○東京都障がい者スポーツ協会 ○都立桜の丘学園